課題番号18

高品位米生産技術の向上

対象：JA新すながわ「ゆめぴりか生産協議会」（110戸）

1　活動の背景

現状

低タンパク推進
産地ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ確立したい！

しかし

タンパクの年次変動が
大きい

課題

気象の影響を最低限に！

低タンパク米を含む
高品位米率の
高位安定化

改善方向

技術情報発信･講習会･
施肥面談等による支援

**全体の技術レベルUP！
高品位米率向上！**

産地ブランド確立による
有利販売と所得確保

2　活動の経過

① 生産者による生育調査支援（カエル倶楽部・技術連絡員）

調査区設置・調査手法を支援

（生産者が調査･報告し栽培管理に活かす!）

② JAコネクトによる技術情報発信

気象や生育の経過
に対応した内容で
計１７回発信

【発信内容抜粋】
- 乾田化促進
- 健苗育成
- 適期防除実施
- 登熟期高温対策

③ 生産技術対策指導（計３回）

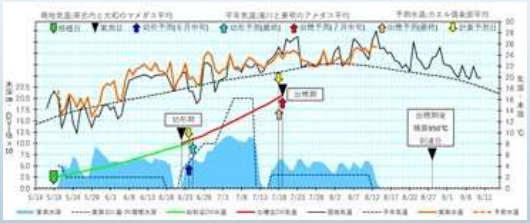
徒長･老化させない
苗管理が大切だね！

育苗講習会

高温に合わせた技術
対策が必要だね！

幼形期判定会

④ 水田センサーを使用した生育期予測アプリを活用した情報提供



水田センサデータを可視化

⑤ 出荷実績を基に次年度改善提案

収量･品質へ影響した要因を整理し改善提案

3　成果の具体的内容

施肥面談実施戸数
R6:81戸 ⇒ 目標:85戸 ⇒ R7:75戸(達成率88%)

施肥面談実施戸数は目標の概ね９割を達成した。
施肥面談時の施肥改善の提案と併せて、令和７年に特に問題となった内容について意見交換し、次年度への技術提案につなげることが出来た。

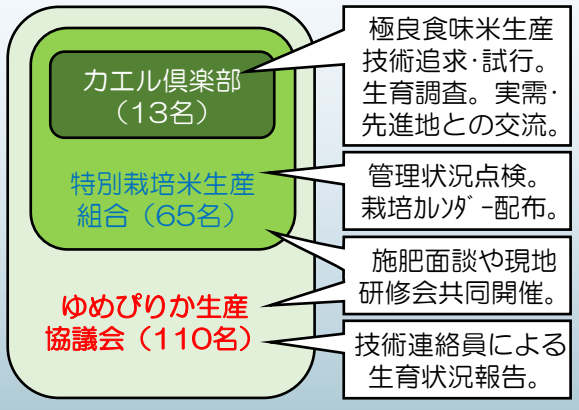
【主な意見交換、技術提案の内容】
- 高温に対応した栽培管理
  - 斑点米対策
  - 白未熟粒対策
  - 雑草、病害虫対策
- 育苗様式に応じた栽培管理
- 品種に応じた栽培管理　　等

普及　JA　農業者

今年は高温の影響で斑点米や白未熟粒の多発で歩留まりが低下した･･･来年はより一層の対策をして収量･品質を高めたい！

普及センターとJAで施肥面談を実施

4　今後の課題と対応



ＪＡ新すながわの水稲生産部会体制図

次年度は「ゆめぴりか生産協議会」を対象に継続的な支援を行うことに加えて、令和７年に特に問題となった内容について改善支援を行う

高品位米率向上！
産地ブランド向上！

【作成者　空知農改中空知支所　専門普及指導員　田中 駿介】